
不惑の恋

西野 斜聴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不惑の恋

【コード】

N25800

【作者名】

西野 斜聴

【あらすじ】

中年男と泡姫との出会いまで。

えっ、今何が入った？一緒に行っていた岡井に尋ねながら自分の買った馬券を何度も確認する

一着、二着は見えたけど三着は混戦で写真判定になった。岡井は今日一レースも当たらずふてくされて

「よく見えなかった」とぶっきらぼうな返事で次のレースのパドックに見入っている。

確定の文字そして配当が掲示板に発表された。「当たった」私の眩きを横で聞いた岡井は少し嫌な顔

をしながら、私の馬券を覗き込む三連単で60、100円、万馬券である500円買っていたので300、500円

私は機嫌が悪くなった岡井をなだめながら「泡銭なんで、遊びに行くか」水戸黄門の印籠のような

この一言で機嫌を直した岡井を連れて夜の街へ繰り出すことにした。根っからの遊び人の岡井はアルコールもかなりいけるほうである、かなり酔いも回ったところで、岡井が、ソープへ行こうと誘ってきた。私も酒の勢いで、「よし、行くか」とソープ街へと足を進めた。50才を少し過ぎた私は衰え気味の性欲を奮い立たせて一軒の店に入る、ここは岡井の行きつけらしい

土曜の夜ということもあって、フリーの女の子は3人しかいなく岡井に先に選ばせ私は残った子を選ぶことにした。

ユキという名の色白で少し幼系の年のころは28、9才位だろうかひと通り事を済ませ彼女と取り留めのない会話をする。帰り際に「もしよかったら電話して」と携帯電話の番号を書いた紙切れを渡されポケットに押し込む、岡井とはそのまま分かれて家路につくが「さて、どうしたものか」とりあえず携帯登録を済ませ紙切れを処分する50過ぎの中年男であった。……

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2580o/>

不惑の恋

2010年10月11日19時15分発行